

# がんばります 年頭にあたり

町民の皆様、明けましておめで  
とございます。

希望に満ちた新年をお迎えのこ  
ととお慶び申し上げます。

また、旧年中は行政運営にあた  
りまして様々な面でご支援、ご協  
力いただきまして、心から御礼を  
申し上げます。

国では「経済財政運営と構造改  
革に関する基本方針2005」い  
わゆる「骨太の方針2005」に  
おきまして、平成18年度を「構造  
改革の総仕上げ」の年と位置づけ、  
三位一体改革の柱であります国庫  
補助負担金の削減と税源移譲の税制  
改正、また、財政収支の改善に向け、  
国・地方を通じた行政のスリム化を  
推進することとしております。

本町の18年度の財政見通しは、  
自主財源の根幹をなす町税の収入  
状況が好転はしてきておりますが、  
不確定要素もあり、決して樂觀で  
きる財政状況には置かれておりま  
せん。

したがって、町行政改革大  
綱に基づき、引き続き行政改革を  
進めて参る所存であります。

こうした中で、本町の現総合計  
画「かみのかわ21」が17年度で計  
画期間を終了することから、新た

な総合計画「上三川町第6次総合  
計画」を策定しておるところであ  
ります。

「快適 ふれあい 活力のある  
まち 上三川」をまちづくりの目  
標とした現総合計画の中での様々  
な事務事業については、町民皆様  
のご支援、ご協力によりまして、  
ほぼ計画どおりの順調な達成状況  
になっております。

次期総合計画におきましても、  
最小の経費で最大の効果が得られ  
るよう、事務事業を精査し、これ  
までに増して住民サービスの向上が  
図れるように努力して参ります。

具体的には、市街地整備や生活  
道路の整備、上下水道の整備等快  
適な生活環境の一層の充実、地域  
特性や交通立地条件を生かして活  
力に満ちた産業の振興、多くの



上三川町長  
猪瀬成男



人々が集う交流あふれるまちづく  
りの推進、少子化に対応する子育  
て支援や学校教育の充実、町民誰  
もが生きがいを持って生活できる  
生涯学習の推進、さらには子ども  
からお年寄りまでの保健・福祉対  
策事業等をこれまで以上に充実さ  
せて参りたいと考えております。

特に、18年度は（仮称）総合保健  
福祉センターの建設に着手いたしま  
すが、町民の皆様がいつまでも健康  
で充実した人生を送るために必要不  
可欠な施設であり、早期な供用開始  
が望まれているところであります。

今後とも、「より安心・安全で活  
力のあるまちづくり」の推進に最  
大限の努力をして参りますので、  
皆様の一層のご協力とご支援  
をお願い申し上げます。年頭にあたり  
ましてのご挨拶といたします。

# あけまして おめでとう

希望の新春を迎えるにあたりまして、皆様のご清福とご繁栄を心よりお祈り申し上げます。

私も議長就任以来2年目となりますが、この間町民の皆様には限りないご支援とご協力を賜り、心から感謝とお礼を申し上げます。

この2年間、市町村は大きな変革の嵐の中を進んでまいりました。いわゆる「平成の大合併」と国の進める「三位一体の改革」であります。平成の合併がスタートした平成11年に3、229あった市町村数は、今年の3月末には1、900を切ることも予想されております。こうした中、本町は単独の道を選択した訳ですが、全国で約800ある町村の一つとして、地域の独自性を保ちながら町民皆さんの負託に応えるべく、議員一丸となりまして新たな決意のもとに町政の発展に寄与していく所存であります。

また、地方版の構造改革と言われる三位一体の改革は、地方自治体の自主性を確立し、その責任を求めるものであります。国においては医療制度の見直しや介護・年金制度の改革と、我々住民の日常生活に密着した制度の改革が矢継

ぎ早に投げかけられております。

様々な行政改革の中で地方分権は、これまでのように国の指導で画一的に進められてきた行政システムから、地域住民自らが地域のことを考え、自らの手で治めていく新たな行政システムへの変更であり、これらを踏まえまして各市町村とも地域の実情に即した取り組みをしていかなければなりません。

この結果、各市町村が個性的で多様な行政運営を進める中で、行政改革の手法と財政基盤の違いにより、これまで以上に市町村の格差が生じてくることが予想されます。

我々議会といたしましても、住民福祉確立のため、議会本来の機能役割を果たしていくとともに、

時代に即応した議会運営を積極的に推進していくという大きな責任を担っております。

まもなく到来する超高齢化社会、その他克服すべき課題等は山積しておりますが、今後とも、住民皆さんのご協力はもちろんのこと、我々議員一人一人が最大の効果が上がるよう、より一層努力していかなければなりません。

私ども議決機関といたしましても、住民福祉の向上のため更に創意工夫を重ねまして町民皆様のご期待に応えていくよう努力していく所存でありますので、どうか本年も相変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



上三川町議会議長  
貝賀芳夫

